「とれなば」の愛称で、地産地消・地域交流等を通じて地域福祉に貢献
～採れたての菜っ葉をイメージし、名張の旬の新鮮食材をお届け～

とれたて名張交流館（とれなば）

＜事業者の概要＞

- ・所在地　：三重県名張市希央台2番町77-1
- ・運営主体　：とれたて名張交流館運営協議会
- ・取組内容　：直売所
- ・売上高　：1億1，859万円（H27）
- ・雇用者数　：8名（臨時雇用を含む）（H27）
- ・URL　：https://ja-jp.facebook.com/torenaba

直売所の外観

直売所内の様子

【取り組むに至った経緯】

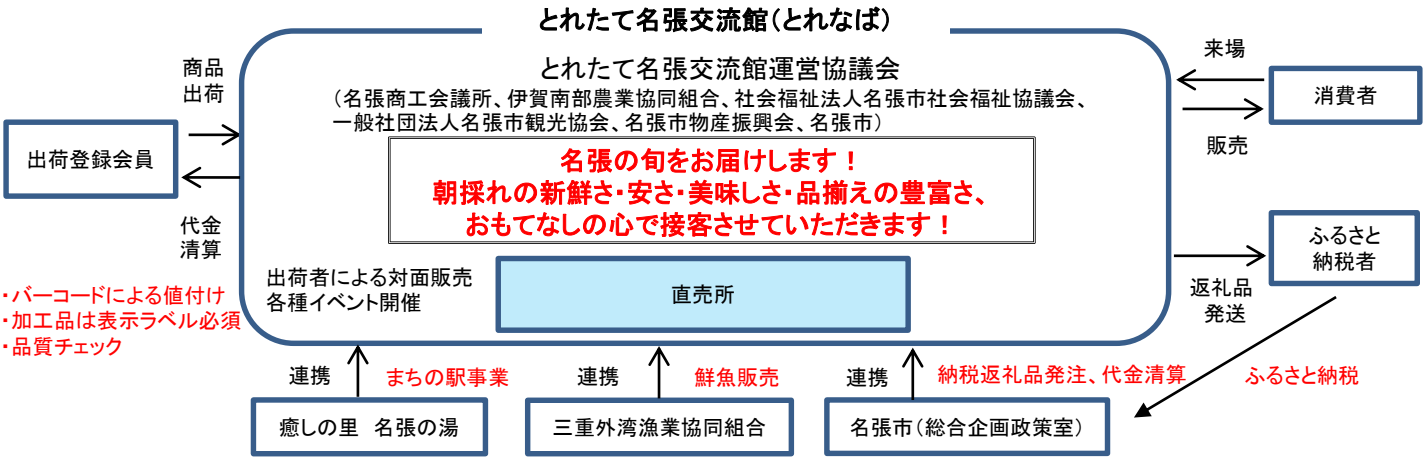
○新鮮な農産物などの地場産品を販売するとともに、名張の物産及び地域福祉に関する各種イベントの開催により、農業・商業・社会福祉の連携を強化し、来場者等との交流を通じて、農業振興と地域経済の活性化ならびに地域福祉の増進を図ることを目的に、平成24年8月に直売所をオープン。

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

○名張市は内陸部のため、新鮮な魚介類の入荷が乏しい
→三重外湾漁業協同組合と連携し、毎月2回、移動販売車による鮮魚販売を実施。
○売れる産品、品揃え充実、陳列棚等の配列検証
→直売所専門アドバイザーによる課題検討を行い、店内リニューアルを実施。
○地域福祉の増進を図るための整備事業の取組
→福祉店の充実や健康相談（骨密度測定）の実施。

【取組の効果】

○売上高
5,050万円（H24）→ 1億1,859万円（H27）
○出荷者数
195人（H24）→ 245人（H27）
○雇用者数（臨時雇用含む）
5名（H24）→ 8名（H27）
○朝採りの新鮮食材を提供することで、口コミで広がり、リピーターが増加した。
○平成27年度より障害者を1名雇用した。
○来客数は、毎月1万人前後で推移している。

【今後の展望】

○当館店員の資質向上と自己研鑽を高めるため、研修や検証などを実施していく。
○当館と併設する「温浴施設」の2施設が、観光交流施設「まちの駅なばり」として平成24年10月に認定されたことにより、もてなしの心で地域産業を情報発信していく。